

こんにちは 山田耕平 です

2013.3.21 No.109 (保育特集号)

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

待機児童対策緊急推進プラン 緊急対策は重要 今後の議論と検証が必要

認可保育園(所)とは?

国が定めた最低限の基準(児童一人あたりの職員配置や面積基準等々)が守られている保育園。児童の命と安全を守る上では、必要最低限の基準となる。しかし、先進国との比較では、基準は最低ランクでもある。

党区議団は、前区政時代から一貫して、待機児童を抱える保護者の実態や「保活」と呼ばれる厳しい保育園探しの実態を紹介、認可保育園の増設計画を早めること、緊急の待機児童対策を拡充することを求めてきました。

党区議団は待機児童問題を告発 認可保育園整備を求め続けてきた

今、保育待機児童問題は、社会問題となり、連日、多くのメディアにも取り上げられています。待機児童対策の拡充を求め、予算特別委員会で質疑に立ちました。そもそも、保育待機児童問題は保育需要の高まりとともに、認可保育園の整備が遅れてきたことに根本的な原因があります。杉並区政で見ると、前山田区政時代から認可保育園が整備されてきませんでした。田中区政に代わり、認可保育園の増設が打ち出されたものの、実際には、整備は進んできませんでした。杉並区で初となる土地・物件持ち込み公募方式での認可保育園増設計画のトン挫等も重なり(週刊ニュース83号参照)、多くの保護者の願いである認可保育園の整備は遅れてきました。

認可保育園整備の遅れが根本問題

フルタイム・共働きでも入園出来ず…

下記の表は、認可保育園入園申込み者の保育指数分布です。認可保育園の定員が不足しているため、保護者の就業状況を点数にし、選考の参考値とします。

保護者一人当たりの満点は20点(8時間以上共働き)。夫婦で40点となります。障害の有無や、申込み園に兄弟がいる、既に認可外保育施設に入園している等の状況により、加点・減点が行なわれます。

保育指数	申し込み人数
39点以下	774
40点	1162
41点以上	1032
合計	2968人

入園可能数は1135名です。夫婦フルタイム共働き(40点)だったとしても、41点以上世帯が1032名もいるため、入園が絶望的なことが分かります。

待機児童対策の重要性と問題点

今回の事態は、決して予測できないものではなく、この事態を招いてしまった区行政は、問題の総括と反省の立場に立ち、これを教訓に、今後の保育施策の拡充に取り組むべきです。

しかし、今回、区行政が、多くの保護者の声を受け、緊急に待機児童対策に乗り出したことは重要です。対策の具体化として、待機児童対策緊急推進プランも打ち出され、補正予算が計上されたことを、党区議団は評価するものです。

緊急プランにはいくつかの問題もあり、今後の議論と検証が必要です。大きく分けて、4つの問題点があります。(裏面参照)

党区議団の提案と今後の検討課題

待機児童対策緊急推進プランは、保育待機児童解消のための緊急対応の必要性和、今後の認可保育所の増設計画も示されていますが、多くの問題点もあります。

緊急プランの4つの問題点

一五〇名の定員弾力化対応

既存認可保育園の定員弾力化は“詰め込み保育”に繋がる可能性もあり、多くの保護者が不安の声を寄せています。

定員弾力化には、十分な保育士配置と、面積基準を遵守することが必要不可欠です。質疑では、保育士の加配が行なわれること、面積基準は守られることが示されましたが、今後、それぞれの園の実態について状況を精査することが求められます。

既存会議室の転用

区立施設を保育室に転用した場合、住民サービスが後退することにも繋がります。臨時的な対応であったとしても、住民周知を徹底し、今後の施設利用に対する代替策を示すべきです。

今後は、小中学校の余裕教室などの活用の可能性を検討し、住民サービスと保育定員増が競合することのないようにすることも、自治体の役割です。

スマート保育の設置基準

認可保育所の整備が足りないなか、認可外保育施設、新規事業のスマート保育の補完的機能を否定するものではありませんが、設置基準を認可基準に準ずるものとし、「保育の質」を確保し、子どもの安全を守ることが重要です。

スマート保育第一号を目指す杉並区が「認可基準に準ずる」設置基準を検討していることは評価できます。実施にあたっては、認可基準並の設置基準を順守するよう、重ねて求めます。

認可保育園増設計画

今後の認可保育園増設計画の公募条件は「土地・物件」持ち込み提案型方式です。昨年10月に井草地域で計画がとん挫した手法でもあり、この方法だけを頼り、今後の増設計画が進められることは問題です。

本来の増設計画は、行政が土地を確保し、民間任せでは無く、増設が進められるべきであり、今後、国・都有地をしっかりと確保し、認可保育所の整備を進めることが求められます。

育メン日誌

妻退院！父子生活を乗り越えました

妻が退院しました。なんとか自力で水分補給と食事が摂れるようになったためです。父子生活は4週間目となり、なかなか苦労をしていたので、本当に助かりました。

妻が家に到着した途端、息子は母親にしがみ付き。目には涙…。一気に緊張が緩んだようです。本当によく頑張りました(泣)



退院の日。喜びが爆発！

今思えば長いようで短い日々でした。いろいろなことを発見し、息子との絆も強固なものになりました。

妻が戻ってからも、しばらくは、「パパっ子」になっていました。父親冥利に尽きますね(笑) さあ、ここから、再び全力疾走です！

予算特別委員会質疑で明らかに スマート保育の設置基準 “認可基準並が必要との認識”

予算特別委員会の質疑で、スマート保育の設置基準について、「認可保育園基準にするよう」徹底的に求めました。「基準の意味」「保育士資格を持つ職員配置の必要性」「保護者の声」などを取り上げたところ、区は“区立保育室並の保育の質”に言及。

翌日の質疑では、“昨日、再度検討した。スマート保育の設置基準は区立保育室並の保育の質の必要性を認識している”と明言しました。

区立保育室の設置基準は「認可保育園基準に準じている」ため、重要な前進です。

スマート保育（スマ保）とは？

スマート保育とは、都が打ち出した小規模保育です。空き家、空き店舗、空き公共施設等を活用し、区市町村が独自に設置基準を設定、実施する定員6人以上19人以下の小規模保育です。都からの各種補助が受けられます。

今回、杉並区がスマ保第一号となる見通しで、自治体独自の設置基準がどのような水準になるのか、多くの保護者・保育関係者から注目されていました。